

( 2 6 ) 野幌駅周辺土地区画整理事業

本地区は、野幌駅を中心とした既成市街地で、商業地を中心に住宅地・業務地が混在した地区であったが、地区の中央に位置する函館本線の踏切による慢性的な渋滞、北口駅前広場の狭小、南口駅前広場及び幹線道路の未整備、バス停の分散等交通上の問題が発生していた。

このような状況のなか、中心市街地としての再整備と改善により機能的で魅力あるまちづくりが求められ、鉄道により分断した南北市街地を一体化し快適な中心市街地を形成するため、函館本線の連続立体交差事業（鉄道高架）と一体的に事業を実施し、道路、駅前広場等の公共施設整備及び宅地の利用増進を図った。

《 事業概要 》

施 行 者	江別市	公 共 減 歩 率	19.9% (12.4%)
施 行 面 積	10.6ha	保 留 地 減 歩 率	0.0%
施 行 期 間	平成18～令和6年度	合 算 減 歩 率	19.9% (12.4%)
総 事 業 費	8,203,944千円	公 共 用 地 率	40.2%
都 市 計 画 決 定	平成18年 6月20日	都 市 計 画 道 路	3.2ha (1.4km)
認 可	平成18年11月21日	区 画 道 路	0.8ha (0.9km)
認 可 公 告	平成18年11月24日	公 園 ・ 緑 地	0.0ha
仮 換 地 指 定	平成20～令和元年度 17回	そ の 他 公 共 用 地	(特殊道路) 0.5ha (0.6km)
換 地 処 分 の 公 告	令和元年11月 1日	保 留 地 面 積	

《 区域図 》

